



移動式汎用建築による 新たな被災地支援モデル

水藤晟太 宮腰友彩 清水麻羽郎
矢島悠暉 宮腰悠生 長谷川琉祥

慶應義塾大学 小林博人研究会

深刻化する能登半島の復興課題

・ 現地が抱える具体的な課題

- ・ インフラ復旧の遅延
道路や水道の寸断によりいまだに通水できていない地域が存在
- ・ 住宅再建の停滞
公費解体後の土地活用が定まらず、空き地が増加
- ・ 地域産業の衰退
輪島塗や酒産業といった伝統産業が被害を受け、事業再開が困難
- ・ 人口減少の加速
被災地からの移住が進み、地域コミュニティの維持が困難

新たな被災地支援モデルの確立

• コンパクトハウス

- 小林博人研究会が開発した移動式汎用建築を活用し、被災地に住民の交流空間を創出するとともに、生活実態調査を行うことで、新たな被災地支援モデルを確立することを目指す。



新たな被災地支援モデルの確立

- **【可能性の提示】 移動式汎用建築の有効性を実証する**
 - コンパクトハウスの機動性・汎用性を実証し、従来の仮設施設とは異なる復興支援における新たな選択肢としての可能性を提示する
- **【利用方法の検討】 住民と共に最適なあり方を模索する**
 - 住民のニーズに基づき、特に「交流拠点」としての最適な利用方法を地域住民と共に検討・模索する
- **【実践的復興策の提案】 建築を媒介に真のニーズを把握する**
 - 住民との直接対話から「生きた情報」を収集し、建築を媒介とした社会的支援のあり方と実践的復興策を考察・提案する

移動式汎用建築「コンパクトハウス」

コンセプト

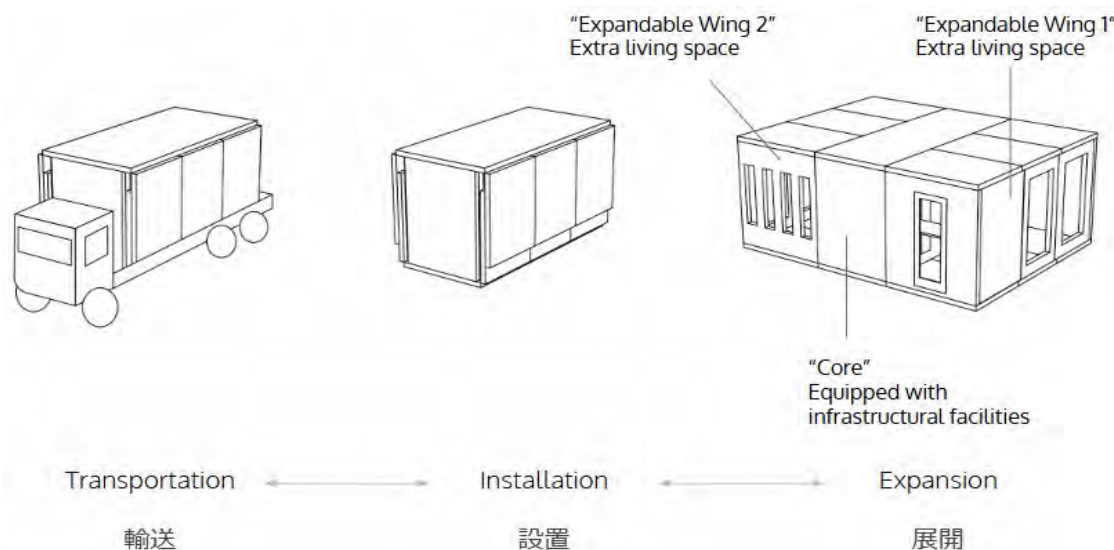
機動性と汎用性を活かし、時と場所に合わせ最適なカタチになる

特徴

・機動性：トラックで輸送し、容易に設置・移設が可能

・汎用性・可変性：閉じた休憩所から壁面を展開することで開放的な交流の場へと転換

・拡張性：“Expandable Wing”により、必要に応じて居住空間を拡張可能



移動式汎用建築「コンパクトハウス」

・特徴

- ・汎用性・可変性：閉じた休憩所から壁面を展開することで開放的な交流の場へと転換

コンセプト：
可動性と汎用性を活かし、
時と場所に合わせて最適なカタチになる。



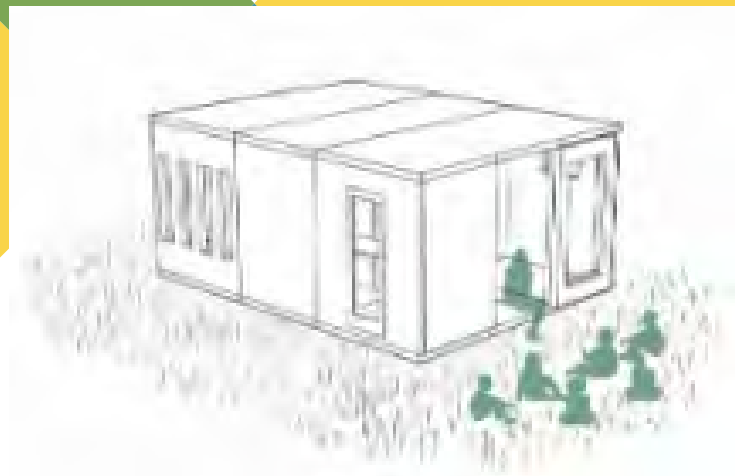
実証実験の全体計画



2024年10月
重蔵神社前に倉庫として設置



2025年6月
道の駅近くに交流拠点として設置



2025年末（計画）
交流拠点として展示会を実施

2024年10月に東京から能登輪島市の重蔵神社へ倉庫兼休憩所として移設

2025年6月に神社での役目を終えたコンパクトハウスは地元住民の要望で世界農業遺産である千枚田へ移設

2025年9月（計画）観光客と地元住民が集まる結節点である道の駅「千枚田ポケットパーク」の近くなため
白米千枚田と能登地震の現況を伝える展示をコンパクトハウスで実施する。

2024年10月 重蔵神社へ設置

能登半島地震によって社務所・倉庫が崩壊。

→住職の能門様の要望に応じて、コンパクトハウスを東京から輸送し、2日間で設置完了。

神社の道具や地元住民への配給物資を一時的に保管する場所と使用された。

→社務所・倉庫の再建が決まり、コンパクトハウスはその役目を終えた。



2025年6月 白米千枚田付近へ移設

千枚田の維持管理を行う「愛耕会」よりボランティアの休憩所としての場所が欲しいという要望に応えるため、コンパクトハウスの移設が決定。

→現地の方の都合で先行して移設を行った。



2025年10月 ヒアリング調査

重蔵神社に設置していた際に課題となっていた雨漏りについては移設時の対策によって解消されていることが確認された。

愛耕会のオーナーに対してヒアリング調査を行ったが、お客様との打ち合わせの場として使われており、当初想定していた使用方法とは異なっていることが分かった。



2026年1月 能登半島視察

研究の理想と実態が乖離している状況を踏まえて、輪島市・珠洲市を中心に視察活動を行い、現地の復興拠点を中心にヒアリング調査を行った。



コミセン



重蔵神社



瑞源寺



のとみい駅カフェ

2026年1月 能登半島視察



深見町「もえるにくまん」



町野町「もとやスーパー」



狼煙町「みんなの家」

まとめ

視察活動を通して以下のことが分かった

- 迅速なコミュニティスペース・通信環境の提供
→コミュニティ減衰・情報格差の防止
- 住民参加型のイベント開催
→コミュニティ活性化
- 快適性を重視した仮設住宅の提供
→厳冬期の地域においては従来の仮設住宅での生活は困難



今後はこれらを念頭に置いてコンパクトハウス移設の検討を進めていく予定

謝辞

本研究の遂行にあたり、多大なるご支援をいただいた
SFC政策研究支援機構に深く感謝の意を表する。

